

# 授業科目 急性期看護学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護	
栗原 弥生、目黒 優子、新谷 恵子 他		開講時期	後期	必修選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎						
【概要・一般目標：GI0】						
急性の状態にある人々の特徴を理解し、それに対する急性期看護の特徴を習得する。 クリティカルケアを必要とする患者と看護の特徴を理解し、クリティカルケア看護活動や基本的看護技術とそれらに伴う倫理的課題を理解する。 急性期に特有な看護活動と急性の疾患障害にある人々の看護の実際を理解する。						
【学習目標】						
1. 急性期看護の対象を理解する。 2. 急性期看護の要点を理解する。 3. 急性期にある人々の身体的心理的特徴と看護活動を理解する。 4. 急性期疾患障害のある人々の看護の実際を理解する。 5. クリティカルケアの考え方や患者家族の特徴を理解できる。 6. クリティカルケアの看護活動と基本的看護技術を理解できる。 7. 周手術期看護の特徴を理解できる。 8. 周手術期における術前・術中・術後の患者家族の理解と、回復過程に応じた援助法を理解できる。						
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	急性期看護の役割と目標 急性期の対象の特徴				講義	
2	周手術期看護の特徴 術前看護			3.4	講義	
3	クリティカルケア看護の概念 看護の対象 患者・家族の特徴 倫理的問題			5.6	講義	五十嵐 涼子 新谷恵子
4	急性期の呼吸障害のある患者の看護			5.6	講義	五十嵐 涼子 新谷恵子
5	急性期の循環障害のある患者の看護			5.6	講義	五十嵐 涼子 新谷恵子
6	急性期の脳・神経障害のある患者の看護			7.8	講義	五十嵐 涼子 新谷恵子
7	急性期の消化器障害のある患者の看護			7.8	講義	
8	急性期の婦人科・整形障害のある患者の看護			7.8	講義	
9	急性状態にある患者に対する看護展開			7.8	講義 事例展開	
10	急性状態にある患者に対する看護展開			6	事例展開	
11	急性状態にある患者に対する看護展開			6	事例展開	
12	急性状態にある患者に対する看護展開			6	事例展開	
13	急性状態にある患者に対する看護展開			6	事例展開	
14	急性状態にある患者に対する看護展開			6	事例展開	
15	まとめ			6	事例展開	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	NANDA-I 看護診断 定義と分類 2009-2011		T. ヘザー・ハードマン 編集、日本看護診断学会 監訳、中木高夫 訳	医学書院	2009・2,800円＋税	
	これなら使える看護診断 厳選 84NANDA-I 看護診断ラベル 第4版		江川隆子	医学書院	2010・2,600円＋税	
参考書	クリティカルケア看護論		池松裕子	ヌーベルヒロカワ		
	クリティカルケア看護学			医学書院		
	周手術期看護論		雄西智恵美	ヌーベルヒロカワ		
その他の資料						
【評価方法】			【履修上の留意点】			
参加状況レポート (20%) 試験 (80%) で評価する						